

## 特別展「江戸時代の旅と街道」と街道の映像記録

山田 稔<sup>1)</sup>・岩村 和政<sup>2)</sup>

Special Exhibition “Travel and Roads in the Edo Period” and Video recording of the Roads

Minoru YAMADA Kazumasa Iwamura

### はじめに

当館の令和3年度特別展「江戸時代の旅と街道」は、昭和55年度から平成16年度まで、山口県教育委員会が実施した県内の「歴史の道調査」（文化庁補助事業）の成果の上に、関連の古文書や歴史資料、とりわけ街道を視覚的に捉えるための絵図を効果的に組み合わせて、江戸時代の防長の旅と街道についてわかりやすく紹介するものであった。展示では、街道の状況をよりわかりやすく紹介するために、スチル写真に加えて、実際に人の視点で街道を歩いている映像をふんだんに使用することにより、会場に居ながらにしてあたかも歴史の道を歩いている気分になれるような効果を狙ったところ、多くの観覧者から好評を得た。



山陽道(下り)・船木 ⑰

船木市の面影が良く残る。白壁の町屋と一直線に抜ける街道が印象的。このような市街地では車載撮影とした。

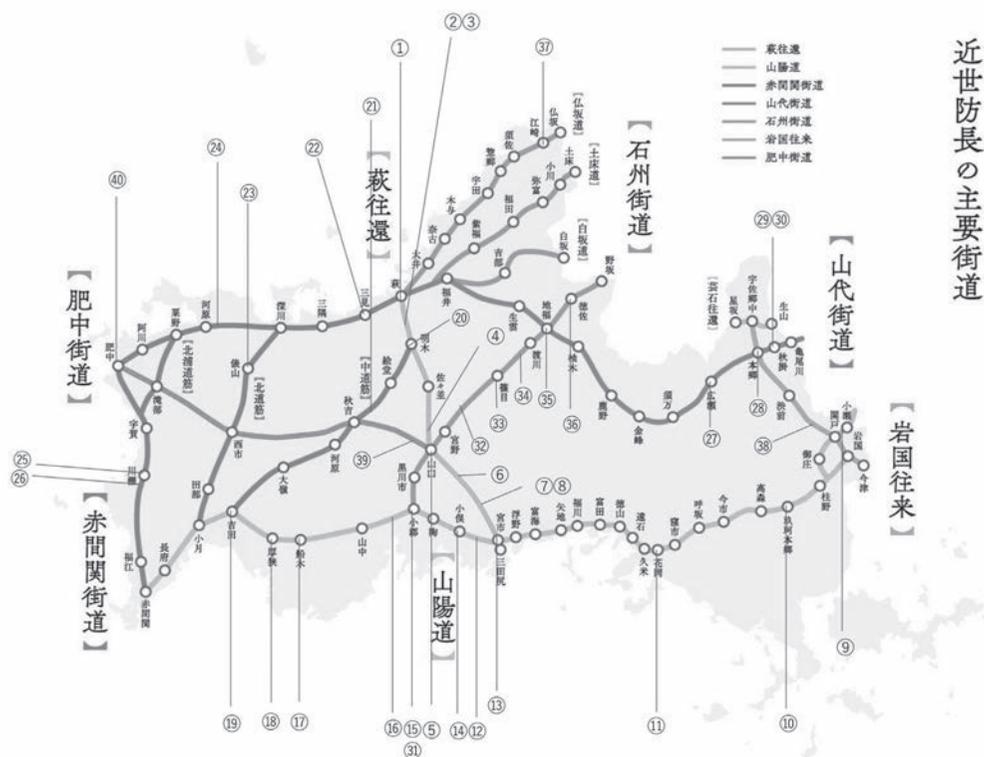
1) 山口県立山口博物館（歴史・特別展企画担当） 2) 山口県立山口博物館（天文・特別展映像担当）

一方、「歴史の道調査」では、現地調査の際に多数の記録写真が撮られ、その一部が報告書に掲載されている。歴史の道の周辺環境が時代と共に変わっていく中で、写真は貴重な記録であることは言うまでもないが、いわゆる線として街道を記録するには映像に勝るものはない。このため、今回は展示資料であると共に、記録資料として街道の映像を制作することとした。本稿は、令和4年3月末時点での、当該映像記録の内容および撮影場所、撮影年月日等の基本データをまとめたものである。

## 1 街道の映像記録一覧

対象の街道名および撮影箇所は、萩往還・8箇所、山陽道・11箇所、赤間関街道・7箇所、山代街道・4箇所、石州街道・7箇所、岩国往来・1箇所、肥中街道2箇所の、合計7街道・40箇所<sup>あかまがせき</sup>に及んだ。

撮影期間は、令和2年11月から令和3年10月まで延べ18日間を要した。撮影ポイントおよび撮影日、収録時間など詳細は別表のとおり。また、各街道の主な箇所について画面キャプチャ



動画撮影箇所図

番号は街道動画一覧と一致している。街道図の出典：『絵図で見る防長の街道』（山口県立山口博物館、2021）

## 街道動画一覧

No.	街道名	地名等	場所等	撮影方向	歩/車	映像時間 (分)	撮影年月日
①	萩往還	萩城下町御成道	萩市堀内	下り	車	2:08	2020年12月10日
②	萩往還	悴坂一里塚	萩市笠屋	下り	歩	1:03	2021年5月13日
③	萩往還	悴坂御駕籠建場	萩市明木	下り	歩	1:37	2021年5月13日
④	萩往還	板堂峠	山口市上宇野令・萩市佐々並	下り	歩	0:45	2021年5月13日
⑤	萩往還	鰐石橋	山口市鰐石町	上り	車	1:54	2021年9月1日
⑥	萩往還	鯖山峠	山口市小鯖	下り	車	2:16	2021年9月1日
⑦	萩往還	小鯖	山口市小鯖	下り	車	1:20	2021年10月1日
⑧	萩往還	勝坂	防府市勝坂	下り	車	2:28	2021年10月1日
⑨	山陽道	関戸・小瀬	岩国市関戸・小瀬	上り	車+歩	2:10	2021年3月10日
⑩	山陽道	玖珂	岩国市玖珂	上り	車	1:37	2021年3月10日
⑪	山陽道	花岡	下松市花岡	下り	車	1:30	2021年3月10日
⑫	山陽道	佐野峠	防府市佐野	上り	歩	2:21	2021年9月1日
⑬	山陽道	宮市	防府市宮市	下り	車	3:30	2021年9月1日
⑭	山陽道	大道	防府市台道	上り	車	1:25	2021年9月1日
⑮	山陽道	小郡	山口市小郡下郷	上り	車	2:16	2021年9月1日
⑯	山陽道	嘉川	山口市嘉川	下り	車	2:16	2021年9月1日
⑰	山陽道	船木	宇部市船木	下り	車	2:03	2021年2月25日
⑱	山陽道	厚狭	山陽小野田市厚狭	下り	車	1:04	2021年2月25日
⑲	山陽道	吉田	下関市吉田	下り	車	2:18	2021年2月25日
⑳	赤間関街道 (中道筋)	明木	萩市明木	下り	車	2:16	2020年12月10日
㉑	赤間関街道 (中道筋)	大久保台	美祿市秋芳町大久保台	下り	歩	1:05	2020年11月13日
㉒	赤間関街道 (北・北浦道筋)	三見	萩市三見	下り	車	1:13	2020年12月10日
㉓	赤間関街道 (北道筋)	俵山	長門市俵山	下り	歩	1:24	2021年1月31日
㉔	赤間関街道 (北浦道筋)	人丸	長門市油谷人丸	上り	車	1:39	2021年1月31日
㉕	赤間関街道 (北浦道筋)	川棚	下関市豊浦町川棚	上り	歩	1:53	2020年11月13日
㉖	赤間関街道 (北浦道筋)	黒井一里塚	下関市豊浦町黒井	上り	歩	1:11	2020年11月13日
㉗	山代街道	広瀬	岩国市錦町広瀬	下り	歩	2:21	2021年4月16日
㉘	山代街道	本郷	岩国市本郷	下り	車	2:10	2021年3月10日
㉙	山代街道	中ノ川山一里塚	岩国市秋掛	下り	歩	1:53	2021年4月16日
㉚	山代街道	秋掛	岩国市秋掛	下り	歩	1:36	2021年4月16日
㉛	石州街道	小郡	山口市小郡	下り	車	3:11	2021年9月1日
㉜	石州街道	木戸山	山口市宮野	下り	歩	2:38	2020年11月12日
㉝	石州街道	篠目一里塚	山口市篠目	上り	歩	1:20	2020年11月12日
㉞	石州街道	長門峡	山口市生雲東分	下り	歩	2:55	2020年11月12日
㉟	石州街道	地福	山口市地福	下り	歩	0:32	2020年11月12日
㊱	石州街道	徳佐	山口市徳佐	下り	歩	1:31	2020年11月12日 2021年1月12日
㊲	石州街道	江崎	萩市江崎	下り	車	1:56	2021年5月13日
㊳	岩国往来	松尾峠	岩国市多田	下り	歩	1:12	2021年6月22日
㊴	肥中街道	吉敷大峠	山口市吉敷・美祿市美東町綾木	上り	歩	1:17	2021年4月6日
㊵	肥中街道	肥中の石畳道	下関市豊北町肥中	上り	歩	1:57	2021年5月12日

※萩往還・赤間関街道・山代街道・石州街道は萩、山陽道・岩国往来は岩国、石州街道(小郡～阿東)は小郡、肥中街道は山口を起点として、上り・下りを示した。



萩往還(下り)<sup>かせがさかおかごなては</sup>・悴坂御駕籠建場 ③

昭和60年度に史跡整備済み。街道は、写真右奥から中央奥を抜けて急な坂道を下り、明木市<sup>あきらぎ</sup>へ向かう。動画は、街道から御駕籠建場に立ち寄り、施設の中を抜けて街道に戻り、急坂を下るコースで撮影した。映像全体を通じて、ジンバル(スタビライザー)の効果は絶大で、画面の揺れが少なく快適に視聴することができる。



山陽道(下り)・宮市(防府市) ⑬

防府天満宮鳥居前の交差点。ここは山陽道と萩往還の分岐点である。山陽道は手前から奥にまっすぐ進み、この交差点で左から萩往還が合流し、しばらく山陽道と一緒に進む。動画は、手前の毛利博物館・周防国分寺前から交差点を抜けた先までの約1.2kmを撮影した。



赤間関街道中道筋(下り)・俵山(美祿市) ㉓

県内の名湯・俵山温泉街を抜ける映像。夕暮れに徒歩で撮影し、旅館や街灯の電球色の明かりも相まって叙情的な映像に仕上がった。実際の映像は写真より暗めである。本例に限らず、映像は一切ナレーションを付けず、シンプルに歩行者の視点で街道を進む動画としたため、視聴者からは没入感があると好評であった。



山代街道(下り)・中ノ川山一里塚(岩国市) ㉔

中ノ川山一里塚は県指定史跡。広島県境に程近い山中の街道沿いに建つ。落ち葉を踏みしめながら山道を歩くと、巨大な一里塚が忽然と現れ、とても印象的な動画に仕上がった。



石州街道(下り)・徳佐(山口市) ③⑥

徳佐の中心部。この動画では、秋と冬に同視点で撮影した動画を編集し、歩いていると雪が降り積もる風景に切り替わる趣向とした。特別展観覧者から大好評で、YouTube公式チャンネルでの再生回数も本街道動画中で一番の人気となった。このように、季節違いのバージョンを記録しておくことは極めて有効である。



岩国往来(下り)・松尾峠(岩国市) ③⑧

岩国往来の難所・松尾峠(標高334m)。この峠に至るまでの道は急峻で、重い機材を担いで歩くのは相当厳しく、旅人たちの苦勞が偲ばれた。峠の頂上には、岩国往来まちづくり協議会によって、説明板や間伐材を使用した椅子が設置されており、格好の休憩場所となっている。



肥中街道(上り)・吉敷大埜<sup>おわたお</sup>(山口市・美祢市) ㊹

肥中街道の最高地点・吉敷大埜(標高359m)の頂上で、周防・長門国の国境、吉敷・美祢郡の郡境にあたる。画像の灯籠は、幕末期に建てられた後、いつしか倒壊していたが、令和2年3月に吉敷地域づくり協議会によって再建されたもの。「肥中街道」の石柱も同協議会による設置。街道沿いの竹木も伐採しており、山間部の旧道が地域の人々によって維持管理されている好例。

## 2 街道映像の制作方法

今回の映像は、すべて当館の学芸員が協力して撮影・編集した。撮影箇所は、各街道の旧宿場町や街道の分岐点、一里塚など見どころとなるポイントに絞ったが、いずれも、実際に街道を歩く視点に近くなることを十分に意識して撮影した。また、撮影箇所の状況に応じて、季節や時間帯を考慮し、新緑や紅葉、雨天、降雪などバリエーション豊富なものとなった。

撮影機材は特別なものではなく、機動性と性能のバランスを考え、iPhone Xを「ジンバル」(スタビライザー)に取り付けて4K動画で撮影した。市街地を通過する場合は、車のルーフ上に取り付けて撮影した。この場合は歩行時よりやや視点が高くなるが、撮影区間が長くなり、沿道の状況も広く捉えることにより、予想以上に効果的な画像を収録することができた。映像時間は、展示室での上映とネット配信を考慮し、概ね3分以内に収めた。また、道標や石碑などは、金石文も判読できるように、周囲の様子を含めて高精細デジタルカメラで撮影した。近年の映像機器の基本性能向上により、プロ用機器を揃えなくても問題なく、かつ撮影者(学芸員)が街道の撮影ポイントを熟知していることで、全体として十分な成果を収めることができた。

一方、映像と画像を同時進行で撮影したため、機材はカメラ、レンズ、三脚、ジンバル、飲料水、参考資料など約10kgになり、これらの重い荷物を担いで長く急な山道を歩かなければならず、撮影は思いのほか過酷であった。



撮影風景①（赤間関街道中道筋・美祿市大久保台の石畳）



撮影風景②（赤間関街道北浦道筋・下関市豊北町肥中）



撮影風景③（山代街道・中ノ川山一里塚）



撮影機材

### おわりに

今回の撮影であらためて現地に出かけてみると、道路拡幅や宅地開発、過疎化などにより、街道の状況が調査時点と大きく様変わりしている箇所が多いことに気付かされた。一方で、特に山間部の街道は、まさに地域の人々の尽力によって維持管理されていることを痛感した。

歴史を刻んだ建物や古き良き街道の面影が減ってしまったことは誠に残念であるが、だからこそ歴史の道を写真や映像記録として残すことの必要性を再認識した次第である。今回の映像は、博物館の映像資料として保存するとともに、YouTube公式チャンネル (<https://www.youtube.com/channel/UCS1xzc03Q-RZcVCKJOhxwOQ>) を利用して広く一般に公開中である。なお、動画の公開方法等については、山口博物館HPで最新情報を確認されたい。また、今後も可能な限り撮影箇所や別バージョンを追加し、2020年代における県内の「歴史の道」の映像記録として、更なる充実化を図る予定である。